---------------------------------------------------------

「ネットワーク実習」 レポート

---------------------------------------------------------

課題： R3

学生番号：37022503

氏名： 山形隼士

所要時間： （ 7 ）時間

（注意）各課題に対して，内容（プログラムの仕組み）と考察（苦労した点，工夫した点）を必ず記すこと．

-----------------------------------------------

(A3-1)

内容：

以下のPythonスクリプトa3-1.pyを用いて現在の時刻（時間，分，秒）を表示するHTMLファイルa3-1.htmlを作れ．ただし，秒数が偶数の場合と，奇数の場合で表示する文字の色を変えること．なお，レポート提出システムにはa3-1.pyも変更せずに提出すること．

考察：

htmlの方を変更し、文字を出力する際にif文を使って時間の偶奇を判定して色を変えることで時間に応じて文字の色が変わるように設定することができた

(A3-2)

内容:

(A1-1)で用いた3つ以上のイベントに関する情報（名称，時期，場所など）をPythonスクリプトa3-2.py内でリスト等に保存し，それを表形式で表示するHTMLファイルa3-2.htmlを作れ．

考察:

Pythonプログラムの中でtableとschemaを定義し、それらをhtmlに渡すことでhtmlにイベント表を出力することができた。また、html内にて{% for item in schema %}と書くことによって表のタグを表示させ、それより下の部分で表の中身を記述するようにした。

(A3-3)

内容:

(A3-2)の表を拡張し，イベントまでの残り日数（過去のイベントは負数とする）を表示する列を加えなさい．なお，イベントの日付から残り日数の計算にはフィルターを用いること．そのためのHTMLファイルa3-3.htmlとPythonスクリプトa3-3.pyを作れ．

考察:

イベントまでの残り日数を出力するためにテンプレートフィルタを用いて残り日数を計算した。まずはtable内に時間を追加して、各イベントの日程を定義したのちにdays\_leftという残り日数を求めるフィルタを定義した。計算部分は現在の日時を取得したのちにイベントの日程を引き算して求めた。

(A3-4)

内容:

(A3-2)の表を拡張し，イベントまでの残り日数（過去のイベントは負数とする）を表示する列を加えなさい．なお，イベントの日付から残り日数の計算にはコンテキストプロセッサを用いること．そのためのHTMLファイルa3-4.htmlとPythonスクリプトa3-4.pyを作れ．

考察:

出力内容としては全問と同様だが、今回の場合ではコンテキストプロセッサを使って残り日数を計算した。計算部分は全問と全く同じだが、コンテキストプロセッサを定義する際に資料を参考にしてそれを登録するようにして実装した。

-----------------------------------------------

[感想] 課題全体に対する感想

今回の課題では、前回に引き続きFlaskを勉強し、特にJinjaについて勉強した。個人的にはJinjaは難しく感じ、特に課題の3、4はかなり時間がかかった。フィルタやコンテキストプロセッサ等の新しい概念もまだしっかりと理解できていないため、自分なりに理解できるまでWebサイト等を使って勉強していきたい。